

○「プラン見直しを機に地区の将来を議論」

(京都府宮津市 日置地区連絡会議)(平成31年度第4回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

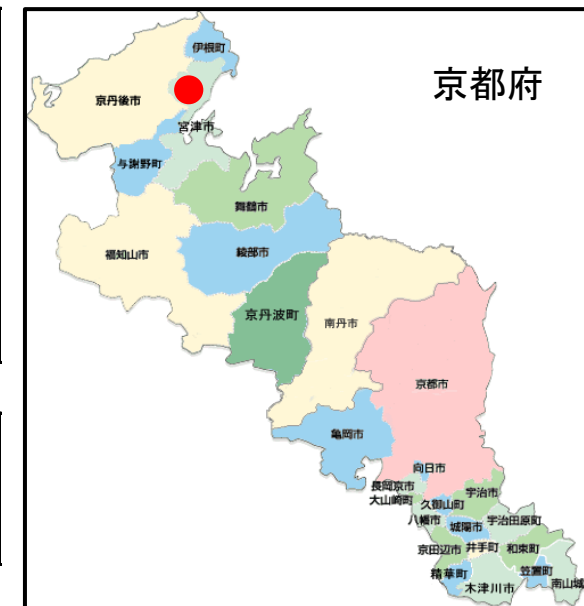
その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年11月5日(火) 19:00~22:00
- 場 所: 宮津市日置地区集会所
- 出席者: 田中推進委員、協力員・農事組合長10人
新規就農者2人、市・関係機関5人
※委員1人、委員以外17人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 日置地区 法人2社と担い手農家3戸により、ハウス栽培、水稻を中心に営農されている



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 京力農場プラン検討
 - ・日置地区の農振農用地 58ha
 - ・協力員と農事組合長から、アンケートと図面の結果報告(アンケート回収率 57%)
- (意見交換)
 - ・組織の将来が不透明。組合への貸付者が増えると組合員が減少。地主は組合員継続が必要
 - ・離農者の受け皿確保が課題
 - ・草刈りや水路維持の負担が大きくなる心配がある
 - ・株式会社としての検討。経営を考えると水稻以外の作物が必要
 - ・危機感をもっと持つべき
 - ・農地調整組織等の検討が必要(次回の検討課題)

4 活動結果

- 情報・意見交換 3 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援